



六小だより

【TEL】042-471-5370 【学校HP】<http://members2.jcom.home.ne.jp/dai6-e/>

令和3年9月29日
東久留米市立第六小学校
10月号
校長 内田 かほ里

「〇〇の秋」と言ったら？

校長 内田 かほ里

2学期が始まり、約1ヶ月が過ぎました。新規感染者が減少傾向にあるとは言え、引き続き、感染防止に努めながら、学校教育において、子供たちに何を伝え、何を学んでもらうかを考えながら教育活動をすすめているところです。

さて、六小の校地内でも、5年生の育てている稲が実り始め、いよいよ秋の訪れを実感します。秋になるとよく言われるのが、「〇〇の秋」。なぜ、「秋」だけ「〇〇の秋」という言葉があるのでしょうか。

「〇〇の秋」と言えば、「読書の秋」がよく言われると思います。これは、古代中国の詩が由来だと言われています。中国の唐時代の詩人である韓愈（かんゆ）は「燈火親しむべし」という詩を残しています。これは、「涼しい秋は過ごしやすいため、明かりを灯して本を読むのに最適である」という意味があるようです。この詩を夏目漱石が小説の三四郎の中で取り上げたことで、広く知られるようになってきたと考えられています。また、「スポーツの秋」もよく言われると思います。1964年、東京オリンピックが開催され、10月10日を「体育の日」と祝日として制定されたことが、「スポーツの秋」というイメージにつながったようです。私は、「食欲の秋」。夏バテで弱った体をもとに戻そうと自然と食欲がわくこと、寒くなる冬に備えて脂肪分を蓄えておくという生存本能が働くことなど、人間の本能と科学的根拠に基づいているようです。もちろん、気候の良さや秋の夜長というように時間を長くとることができ、1つのことにじっくりと取り組みやすいなど秋という環境も関係しているのでしょう。

このように秋には様々な「〇〇の秋」があります。気候的に涼しくなって、過ごしやすく、少し落ち着いて時間がとれる「秋」。皆さんにとっての「〇〇の秋」は何でしょうか。この機会に、今まで挑戦できなかったことに挑戦してみるのも良いですね。



今後の新型コロナウイルス感染症への対応について

1 学習活動・行事等について

9月30日で緊急事態宣言が解除されても、マスクの着用、授業前後の手洗い、うがいを徹底し、密集、密閉空間での活動、近距離での活動、身体接触を伴う活動、教材等の児童同士の貸し借りを避けるなどの感染予防対策をして、学習活動、行事等を進めていきます。なお、各教科等の当該学年での未履修の学習活動について、感染予防対策を行った上で行っていきます。

2 学習発表会について

現時点では、11月19日（金）児童鑑賞、20日（土）保護者鑑賞について予定通り実施いたします。これから、子供たちの取り組みが始まりますが、感染予防対策をした上で活動してまいります。なお、学習発表会実施日に東京都に緊急事態宣言が発令されていた場合、東久留米市の感染状況が増加傾向である場合には、保護者鑑賞は困難となります。また、保護者鑑賞が実施可能な場合でも、人数の制限等を設定して実施する予定です。詳細は、11月に配布されるお便りをご覧ください。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。